



ニュースリリース

2014 年 12 月 9 日

シリコンラボ、次世代のデジタル TV デモジュレータの新製品「Si218x」ファミリを発表

TV 及びセットトップ・ボックス・アプリケーション向けに DVB-S2X と ISDB-T をサポート

テレビ市場向けに放送ビデオ・ソリューションを提供する[シリコン・ラボラトリーズ社](http://www.silabs.com) (本社: 米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下: シリコンラボ)は、最新の衛星波、地上波、及びケーブル規格に対応した次世代のデジタル TV デモジュレータ(復調器)の新製品「Si218x」ファミリを発表しました。Si218x ファミリには、DVB-S2 規格の機能・性能を向上した新規格 DVB-S2X 仕様を業界で初めてサポートするデモジュレータが含まれています。ブラジルなどラテン・アメリカ諸国で普及している ISDB-T(Integrated Services Digital Broadcasting-Terrestrial: 統合デジタル放送サービス・地上波)規格もサポートする Si218x ファミリは、シリコンラボの地上波デモジュレータ・ポートフォリオを拡充します。Si218x ファミリは、世界中の TV 及びセットトップ・ボックス(STB)メーカ、RF ネットワーク・インタフェース・モジュール(NIM)メーカ、DVD/Blu-ray レコーダー・メーカが求める広範囲なデジタル TV 受信要件を満たします。

シングルチャネル・デジタル・デモジュレータの Si218x 及びデュアルチャネル・デジタル・デモジュレータの Si218x2 は、現在サンプル及び量産中です。Si2183 ユニバーサル ISDB-T 及び DVB-C2/C/T2/T/S2/S/S2X デモジュレータ、及び Si21832 デュアル ISDB-T 及び DVB-C2/C/T2/T/S2/S/S2X デモジュレータは、シリコンラボの包括的なシングルチャネル及びデュアルチャネル・デモジュレータ・ポートフォリオの最上位製品です。製品価格は、シリコンラボの国内販売代理店にお問い合わせください。シリコンラボは Si218x デモジュレータ・ファミリの評価ボードを提供しており、リファレンス・デザイン回路図、レイアウト Gerber ファイル、ドライバ・ソース・コードのサンプルを使用することで、開発コストを削減し、市場投入期間を短縮できます。シリコンラボの新デジタル・デモジュレータ製品の詳細や、サンプルのご注文については、www.silabs.com/tv-demodulator をご参照ください。

シングルチップ・デモジュレータ Si218x は、継続的に改良を重ねたシリコンラボのデジタル復調アーキテクチャを中核とし、地上波(DVB-T/T2、ISDB-T)、衛星波(DVB-S/S2/DSS/S2X)及びケーブル(DVB-C/C2、ITU-T J83 Annex A/B/C)受信の新旧さまざまな規格をサポートします。TV 及び STB メーカは、シングルチャネルの Si218x ファミリ、デュアルチャネルの Si218x2 ファミリを使用することで、ビデオ・フロントエンド設計の複雑性を低減できるとともに、現場で実証済みの低消費電力かつ低コストの単一のデモジュレータ・ソリューションによって、複数の放送規格の組み合わせに対応できます。

地上波放送アプリケーションについて、シリコンラボの DVB-T2 デモジュレータは、TV 業界で最大の市場シェアを有しています。シリコンラボは、広く普及している ISDB-T 規格もサポートする第 3 世代の Si218x DVB-T2 デモジュレータの開発に、地上波放送市場における豊富な経験を投入しました。高品質なデジタル・ビデオ地上波受信のために設計された ISDB-T は、日本で開発され、ブラジルをはじめとして、その他中南米、アフリカ、アジアの 15 カ国で採

用されています。

ブラジル、サンパウロのマッケンジー長老派教会大学の一部門である Mackenzie Digital TV Laboratory は、送信受信システム研究のための主要なデジタル TV 研究所です。1997 年以来、ABERT (Brazilian Broadcasters Association: ブラジル放送協会)、SET (Society for TV Engineers: TV 技術者協会)、ブラジル通信省、ブラジル政府の監督官庁である ANATEL との協力の下、ISDB-T 準拠及び認証テストを実施しています。Mackenzie Digital TV Laboratory で主席研究員を務める Gunnar Bedicks 博士は次のようにコメントしています。「シリコンラボの ISDB-T デモジュレータ及び TV チューナ・チップセットは、あらゆる ABNT NBR 15604:2007Vc2008 仕様に適合しており、検証した全項目について大きなマージンがあります。シリコンラボのデモジュレータは、困難な受信テスト・ケースについて非常に優れた振る舞いを示しました。特に、プリエコーとポストエコーを伴うマルチパスや、ドップラー効果のテストについて、極めて優れた総合的性能を確認しました。」

Si218x ファミリは、ISDB-T に加え、衛星波受信に DVB-S2 の拡張である新規格の DVB-S2X をサポートしています。DVB-S2X 対応のデモジュレータを使用することで、先進のチャンネル・リカバリ機能を搭載した、将来性のある TV 及び STB 設計が可能になり、HEVC (High-Efficiency Video Coding: 高効率ビデオ・コーディング) 機能に基づく 4K Ultra HD TV 受信の今後の普及に対応できます。すでに多くの TV SoC デバイスに組み込まれている HEVC デコード・テクノロジーと DVB-S2X 受信の組み合わせは、今や TV 市場になくてはならないものになっています。

シリコンラボで、モノのインターネット (Internet of Things) 及び放送製品担当シニア・バイス・プレジデント兼ゼネラル・マネージャを務める James Stansberry はこうコメントしています。「シリコンラボは、先進デジタル TV デモジュレータ市場のリーダーとして、世界中のお客様がデジタル・ビデオ放送規格の絶え間ない進化に適応していけるよう、あらゆる支援をしていきます。最新の DVB-S2X 衛星波規格とラテン・アメリカの地上波規格の ISDB-T をサポートする新しい Si218x デモジュレータを使用することで、TV 及び STB のメーカーは、設計に将来性を持たせ、新しい市場をスムーズに開拓できます。」

シングルチャンネル・デモジュレータの Si218x は、シリコンラボの従来のデモジュレータ・ファミリと同じ 7mm x 7mm QFN-48 パッケージを使用しており、ピン互換性があり、基板デザインをシンプルにし、コストや研究開発の労力を最小限に抑えることができます。デュアルチャンネル・デモジュレータの Si218x2 もピン互換性があり、8mm x 8mm QFN-68 パッケージを使用し、効率的でコスト・パフォーマンスの高いソリューションによって幅広いマルチレシーバ・アプリケーションに対応できる革新的なオンチップ・クロスバー・アーキテクチャを搭載しています。Si218x 及び Si218x2 デモジュレータは、同一の API ソフトウェアを共用するため、お客様のアプリケーション・ソフトウェアを両方のデモジュレータに容易に拡張および対応させ、TV 及び STB 製品を ISDB-T 及び最新のデジタル・ビデオ放送規格にアップグレードできます。

Si218x/8x2 ファミリの発表と同時に、シリコンラボの既存の最高モデルである [Si216x/6x2 DVB デモジュレータ・ファミリ](#) も、新しい性能強化を加え、DVB-S2X 規格をサポートしてアップグレードされました。シリコンラボの [TV チューナ](#) 製品と組み合わせることで、Si216x 及び Si218x デモジュレータは、RF からベースバンドに至るまでの最高性能のビデオ・フロントエンド・ソリューションを提供し、TV 設計の簡略化を助けます。

シリコン・ラボラトリーズ社について

シリコン・ラボラトリーズ社 (NASDAQ: SLAB 本社、米テキサス州オースチン、www.silabs.com) は、IoT (モノのインターネット)、インターネット基盤、工業制御、民生及び自動車市場向けにシリコン、ソフトウェア、及びシステム・ソリューションを提供する業界大手メーカとして、エレクトロニクス産業の難題を解決し、性能、省エネルギー、コネクティビティ、設計の簡素化の面で大きなメリットをお客様に提供します。ソフトウェア及びミックスドシグナル設計の分野で無類の技術力を誇る世界クラスのエンジニアリング部門を擁し、初期構想から最終製品までのプロセスを改善するために必要なツールを開発者に提供します。会社概要・事業内容の詳細は www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会 (SEC) へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc. の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

###

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ社 Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: (米国) 1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs> 公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>

シリコンラボ製品紹介サイト www.silabs.com/parametric-search.

ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K. TEL: 03-5460-2411(代表) www.silabs.com